

# F/T09

フェスティバル/トーキョー

PRESS RELEASE

## 『ろじ式』

～とおくから、呼び声が、きこえる～

### 維新派

作・演出：松本雄吉

10月23日(金)～11月3日(火・祝)

於：にしすがも創造舎



『呼吸機械』©Fukunaga Kohji(Studio epoque)

演劇の伝説を更新し続ける劇団・維新派、6年ぶりの東京公演。  
校庭には屋台村も出現させ、にしすがも創造舎を全面占拠。  
世界初演！！

お問合せ：フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局 <http://festival-tokyo.jp/>

〒170-0001 東京都豊島区西巢鴨 4-9-1 NPO 法人アートネットワーク・ジャパン内 TEL 03-5961-5202/FAX 03-5961-5207

制作担当：武田知也 t-takeda@anj.or.jp 、板橋園恵 s-itabashi@anj.or.jp

## ／ 作品について

### 想像力が「その場その時」を埋め尽くす

舞台芸術の特徴である「その場、その時」でしか体験し得ない空間・時間を創り出す維新派。一＜彼＞と旅をする 20 世紀三部作一と題し、2007 年には南米篇『nostalgia』、08 年には東欧篇『呼吸機械』を上演。琵琶湖に水上舞台をつくりだした最近作『呼吸機械』では、美術、音楽、踊り、バリ島のケチャに似ていることから「大阪弁ケチャ」と評される俳優の発話、その全てが琵琶湖の情景と溶け合い、観客を魅了した。また、演出の松本雄吉は第8回朝日舞台芸術賞アーティスト賞を受賞した。

フェスティバルトーキョーとの共同製作により発表する『ろじ式』は、10 年に計画する同三部作の第三部「アジア篇」に向けた大いなる実験作。＜ろじ＞は家並みに挟まれた細い道の＜路地＞のこと。公道と私道の境のあいまいな管理されることのない空間、不合理なるものの迷宮、日常空間でありながら時として非日常の貌を覗かせる魅力的な奥行き。過去さまざまな作品の中で＜路地＞を取り上げてきた維新派が、“東京のエアポケット”―廃校になった中学校が転用されたにしすがも創造舎にどのような路地＞を見出し、なにを出現させるのか。演劇ならではの一回性にこだわる維新派 6 年ぶりの東京公演にして、10 年第三部「アジア篇」への回路を作り出す新作の世界初演は見逃せない。

### 校庭には屋台村も出現！

今回の東京公演にあたり、維新派名物の屋台村も、にしすがも創造舎校庭に出現。維新派屋台チームとにしすがも創造舎の周辺地域との連携により店舗が出され、校庭と劇場が一体となった異世界へと来場者を誘う。

## ／ 演出ノート

松本雄吉

舞台は、一辺 60 cm の正立方体の標本箱約 600 個により構成される。

標本は、昆虫、植物、化石、動物の骨格などの自然史標本のほか、鍋、釜、薬缶、靴、帽子、便器といった雑多なものまで標本される。

この 600 個の標本箱が場面により置き換えられ、並べ替えられて様々な風景を構成する。

## / アーティスト・プロフィール

### 松本雄吉 Yukichi Matsumoto 演出家



1946年熊本県生まれ。維新派主宰。

大阪教育大学で美術を専攻。70年日本維新派を経て維新派を結成。74年以降のすべての作品で脚本・演出を手がける。91年、東京・汐留コンテナヤードでの巨大野外公演『少年街』より、独自のスタイル「チャンチャン☆オペラ」を確立。野外にこだわり、観客とともに旅をする「漂流」シリーズを企画。奈良・室生、岡山の離島・犬島などで公演を行う。00年オーストラリア・アデレードフェスティバル、01年ヨーロッパツアー、05年南米ツアー、09年オセアニアツアーなど海外からの招聘も多数。

#### 受賞歴

99年『水街』大阪府舞台芸術賞

02年『カンカラ』朝日舞台芸術賞

05年『キートン』読売演劇大賞演出家部門優秀賞

08年『呼吸機械』朝日舞台芸術賞アーティスト賞 平成20年度芸術選奨文部科学大臣賞

### 内橋和久 Kazuhisa Uchihashi 音楽監督

70年代初頭よりギターを手にして、フォーク、ロック、ジャズを踏破し、80年代にはダンサー、舞踏家などのパフォーマンスアートはもちろん書家・美術家・ライブペインティングなど、時代の革新を追求する様々なアーティストと共演。とりわけ、86年から活動を共にする維新派とは、00年以降豪州、欧州への招聘を受け、絶賛を重ねている。また、ソロ活動はもちろん「グラウンドゼロ」「アルタードステイツ」などでも国際的な活躍の場を得、「ファンタズマゴリア」や「ミュータント」など新たなプロジェクトも好調。

website <http://homepage.mac.com/innocentrecords/>

## / カンパニー・プロフィール

### 維新派 Ishinha

維新派は1970年に大阪で結成されて以来、主宰の松本雄吉を軸として常に〈演劇〉という枠では語りきれない活動が続けてきた。

野外に自らの手で建築する劇場、映画のセットのようなリアルなものから抽象的な空間まで造り込む圧倒的な美術、チャンチャン☆オペラと名付けた関西弁のイントネーションを生かした変拍子のリズムを駆使した台詞、オリジナルの音楽というすべての要素をディレクションし、構成・演出をこなすのは松本雄吉。彼によって演劇の総合芸術性を体現する舞台は生み出される。

チャンチャン☆オペラの「チャンチャン」とは、維新派の活動拠点である大阪・天王寺のジャンジャン町に由来する。標準語を使わず大阪弁のイントネーションを生かし、5拍子、7拍子など変拍子を多用したりリズムによって紡がれる台詞は、大阪弁オペラ、シティケチャと呼ばれるように、まさに現代が生んだ新しいオペラといえる。松本雄吉は大阪弁にこだわらず、紀州弁、琉球語など日本の各地の方言から、果てはロシア語、中国語、スペイン語なども取り込み、「維新派弁」と言うべき混成言語を作り上げる。

更地に巨大な架空の街をたちあげる現場には、さまざまなジャンルから人が集まり、上演時はカーニバルの異空間を作り上げる。野外性、架空性にこだわり、公演後は釘一本残さず立ち去るのも彼らの特色だ。

### ※近年の活動

99年 『水街』 大阪南港野外特設劇場 ※大阪舞台芸術賞受賞

※00年 オーストラリア・アデレード芸術祭で上演

00年 『流星』 大阪南港野外特設劇場

※01年 ドイツ・イタリア・イギリス(ベルファストフェスティバル)で上演

01年 『さかしま』 奈良県室生村 総合運動公園内県民グラウンド

02年 『カンカラ』 岡山県犬島道精錬所跡地 ※朝日舞台芸術賞受賞

03年 『nocturne』 東京・新国立劇場

04年 『キートン』 大阪南港ふれあい港館広場 ※読売演劇大賞演出家部門優秀賞受賞

05～06年 『ナツノトビラ』ツアー メキシコ(セルバンティーノフェスティバル)、ブラジル、  
大阪・梅田芸術劇場メインホール

07～08年 『nostalgia』ツアー 大阪・大阪城ホール西倉庫内特設劇場 ウルトラマーケット、  
埼玉・彩の国さいたま芸術劇場、京都・京都芸術劇場 春秋座

08年 『聖・家族』 大阪・精華小劇場 滋賀・栗東芸術文化会館さくら

08年 『呼吸機械』 滋賀・野外特設劇場〈びわ湖水上舞台〉

09年 『nostalgia』 オーストラリア(パースフェスティバル)、  
ニュージーランドツアー(オークランドフェスティバル)

## / キャスト/スタッフ

|             |                 |
|-------------|-----------------|
| 作・演出        | 松本雄吉            |
| 出演          | 維新派             |
| 音楽          | 内橋和久            |
| 美術          | 柴田隆弘            |
| 照明          | 吉本有輝子           |
| 音響          | 佐藤武紀            |
| 映像          | 山田晋平            |
| 舞台監督        | 大田和司            |
| 屋台          | 白藤垂人            |
| 宣伝美術(維新派)   | 東 學(188)        |
| 宣伝写真        | 福永幸治(スタジオ・エポック) |
| WEB 製作(維新派) | 中川裕司(house-A)   |
| 制作          | 山崎佳奈子、清水 翼      |
| 製作          | 維新派             |
| 共同製作        | フェスティバル/トーキョー   |
| 主催          | フェスティバル/トーキョー   |

## / 公演情報

会場 にしすがも創造舎  
(東京都豊島区西巣鴨 4-9-1 TEL03-5961-5202)

### 公演スケジュール

| 10/23(金)       | 10/24(土)       | 10/25(日)       | 10/26(月) | 10/27(火) | 10/28(水) | 10/29(木) | 10/30(金) |
|----------------|----------------|----------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 19:00          | 14:00<br>18:00 | 14:00<br>18:00 | 19:00★   | 休演       | 19:00    | 19:00    | 19:00    |
| 10/31(土)       | 11/1(日)        | 11/2(月)        | 11/3(火)  |          |          |          |          |
| 14:00<br>18:00 | 14:00          | 19:00          | 14:00    |          |          |          |          |

★終演後ポスト・パフォーマンストークあり

上演時間 100分(休憩なし)

## / F/T チケット情報

料金 指定席  
一般 4,500円  
学生 3,000円 / 高校生以下 1,000円 (要学生証提示)

前売開始 2009年9月5日(土)

お取扱い ○F/Tチケットセンター 03-5961-5209(12:00-19:00)  
※前売開始日9/5(土)のみ10:00より受付  
○F/Tオンラインチケット(要事前登録・無料)  
<http://festival-tokyo.jp/>(パソコン)  
<http://festival-tokyo.jp/m/>(携帯)  
※モバイルサイトは9月より開設予定  
○F/Tステーション(東京芸術劇場前)  
※10月後半より取扱い予定  
○電子チケットぴあ 0570-02-9999  
(Pコード予約:397-078) <http://pia.jp/t/>  
○イープラス <http://eplus.jp/ft09/> (パソコン・携帯)

\* 回数券、セット券、ペア券など、F/T チケット情報詳細につきましては、F/T 全体チラシまたは F/T 全体リリース、HPをご参照ください。

## / 写真/クレジット一覧

『nostalgia』(07-09年)



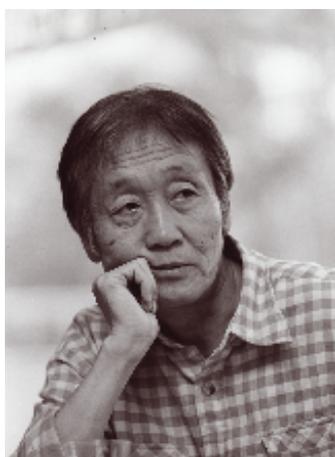
©福永幸治(スタジオエポック) Fukunaga Kohji(Studio epoque)

『呼吸機械』(08年)



©福永幸治(スタジオエポック) Fukunaga Kohji(Studio epoque)

ポートレート: 松本雄吉



クレジット不要



クレジット不要

・ご利用になる場合は、写真家のクレジットを必ず併記してください。

・原則、トリミングおよび加工は不可。